

仙北市版ネウボラ

「なないろ」

妊娠期〜子育て期まで切れ目のない支援をします!

問合せ 仙北市保健課 ☎(55)11112

「色々な子がいい! 同じ色の虹はない。みんな違う色で輝く子どもたちに!」そんな思いが込められています。



あなたも子どもも大切なひとり。子どものために、あなたのためにも一緒に考えていきましょう! 保健師、管理栄養士、栄養士が、相談に対応して一緒に考えていきます!

「困ってからの相談はもう遅い」困るまえに気軽に相談をしましょう!

仙北市では、専門職を中心に、これまでも妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供するように努めてきました。そして、8月からさらに支援体制を強化して、電話相談の充実と、妊娠期の支援プランと乳児(1か月児)の支援プランを対象者全員に作成することになりました。

ネウボラとは

フィンランド語で、「相談する場所、アドバイスをもらうところ」が日本語に近い意味です。フィンランドでは、「ネウボラ」として、かかりつけの担当者や専門職が、妊娠期から就学期まで切れ目なくサポートしており、日本では、フィンランドでの「ネウボラ」を参考に「日本版ネウボラ」として全国で展開しています。

保健師が、あなたと一緒に考えてあなたに合った「支援プラン」を作ります。

① 妊娠期：母子手帳交付時

仙北市は、合併当時から母子手帳交付時に受診券を発行するまでの待ち時間にマタニティ教室として、「妊娠中の栄養の話」(管理栄養士・栄養士)、「妊娠初期の話」(保健師)のあとに、保健師が個別に相談をして、出産や育児に対する不安や困りごとと一緒に考え、情報提供やアドバイスをしています。

☎(55)11112《固定》

☎0800-2813-0835

《携帯》

た。実は、これは、全国に先駆けたり取り組みでした。8月からは、個別相談時に支援プランをお渡しし、より細やかな支援をします。② 乳児期：乳児(1か月児)訪問時 1か月の頃に、予防接種のお話や赤ちゃんやママの健康状態を確認しながら生活について一緒に考えてきました。8月からは、訪問時に支援プランをお渡しします。

大切なのは、気持ちを共有できる場

これからも、皆さまの意見をいただきながら、安心して妊娠・出産・子育てができるように支援していきます。



仙北市切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策・仙北市版ネウボラ



●電話相談(保健師・管理栄養士・栄養士対応) 携帯電話 080-2813-0835 固定電話 55-1112

<p>妊娠届出時同時実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●母子手帳発行 ●妊婦健診受診券発行 ●産後1か月健診受診券発行 ●母乳育児相談券発行 ●マタニティ教室 ●妊娠中の栄養の話(管理栄養士・栄養士) ●妊娠初期の話(保健師) ●個別相談・支援プラン作成(保健師) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ママパパ教室 ●沐浴母乳育児コース ●沐浴パパ体験コース(助産師、管理栄養士、栄養士、保健師、看護師) ●電話訪問 ●妊娠経過の確認と相談の電話をします。(保健師) 	<p>訪問時同時実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●赤ちゃん訪問 ●生後1~2か月未満の頃に訪問します。(保健師) ●子育て支援プラン作成(保健師) ●予防接種予診票発行 ●生後2か月から始まり ●ます。訪問時に説明しながら渡します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●4か月児健診・10か月児健診：小児科医師診察・身体計測・個別相談(保健師・管理栄養士・栄養士) ●1歳6か月児健診・3歳6か月児健診：小児科医師診察・歯科医師診察・身体計測・個別相談(保健師・管理栄養士・栄養士)・歯科指導(歯科衛生士) ●2歳6か月児健診：歯科医師診察・身体計測・個別相談(保健師・管理栄養士・栄養士)・歯科指導(歯科衛生士) ●親支援講座(ベビーマッサージ・ベビークラフ・救急法・交流会) 3か月頃から参加できます。年15回 ●7か月児健康相談：離乳食教室・身体計測・個別相談(保健師) ●1歳3か月児健康相談：身体計測・個別相談(保健師・管理栄養士・栄養士) ママのためのリラクゼーション講座 ●おやこ交流ひろば：週1回、健康管理センターを室内公園として開放
---	---	--	---

●妊産婦・新生児・乳幼児訪問(保健師・管理栄養士・栄養士)：希望する方、医療機関や関係機関から依頼のあった方、気にかけたい方等

まちづくり日記

No.121

『周囲から幸せをいただいで』

仙北市長 門脇 光浩

先日、ある方の叙勲祝賀会にご案内をいただきました。その方は長く教職に就かれ、多くの教え子を導き、現場から退いた後も様々な役職をお引き受けしながら、ご家族との時間を楽しんでいます。

私はこれまでも、何度か叙勲祝賀会にお招きをいただく機会に恵まれました。そこでいつも感じることは、受章者の皆さんが謙虚で慎ましく、素晴らしいお人柄だということ。そうでなければ陛下からの褒美はないのでしょが、それにしても...です。多くの功績を積み上げてこられた皆さんは、ご家族をはじめ、周囲に感謝の思いで接し、そんな日常を至上の喜びと感じている方々ばかりです。

さて、先日のある方は、ご本人の感謝の言葉をお話される場面で、本当に申し訳なさそうに演台に進み、静かにお話を始めました。「いま〇〇さんや市長さんから、いろいろとお話をいただきましたが、ほめ過ぎです。私は今まで、教室で一人で授業をしたことはありません。そこには子どもたちがいて、支えてくれる同僚がいました。子どもたちには保護者がいて地域があつて...。私には家族がい

ました。私は一人では何もできない人間です。本当なら、この賞は私と同じ時間を過ごしてくれた皆さんがいただくべきです。できればバスでも仕立てて、みんな一緒に皇居へお伺いすべき賞なのです。でも、それは現実的には難しいから、私が代表で受け取って来ました。皆さんにはただただ感謝でいっぱいです。そして、いつも町内を家内とコソコソ歩いて、あつ、間違いました。ぶらぶらと散歩していますので、お見かけしたら声でもかけてください」と、こんなユーモアも本心に素敵です。

もちろん、平穏なだけの人生などあり得ません。想像以上の苦悩があったはずですが、喜びも悲しみも受け入れ、仕事を全うされて、振り返る過去が周囲への感謝で満ちている人生でありたい、そんな当たり前のことに、改めて気がついたお話をしました。

第13回 仙北市産業祭

10月21日・22日

会場：神代市民体育館・駐車場 (田沢湖神代字野中清水)

農産物の展示・販売、芸能イベントなど、農・商・工が連携して仙北市産業祭を開催します。出品いただいた方には粗品を用意していますので多数の出品、ご来場をお待ちしています。

問合せ：仙北市産業祭実行委員会事務局(仙北市農山村活性課) ☎43-2206